（別紙様式）

担当授業科目に関する研究業績等一覧

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 〇月〇日  氏名： | | | | | | |
| 担当授業  科目 | 著書、学術論文等の名称 | 単著共著 | 発行  年月 | 出版社又は発行雑誌等の名称 | 執筆ページ数  (総ページ数) | 概　要  （共著の場合は全員の著者名を記載）  （共著及び執筆ページ数が抽出できない場合は執筆箇所を詳述） |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

（記載例）

担当授業科目に関する研究業績等一覧

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 〇月〇日  氏名： | | | | | | |
| 担当授業  科目 | 著書、学術論文等の名称 | 単著共著 | 発行  年月 | 出版社又は発行雑誌等の名称 | 執筆ページ数  (総ページ数) | 概　要  （共著の場合は全員の著者名を記載）  （共著及び執筆ページ数が抽出できない場合は執筆箇所を詳述） |
| ○○○○  （　　） | （著書）  １．○○○○  （学術論文等）  １．△△△△  （教育実践記録等）  １．□□□□ | 単  共  単 | 平成○○年○月  平成○○年○月  平成○○年○月 | ○○○  △△△  □□□ | ○○  ○○  (○○)  △△△  (○○) | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。  △△△△△△△△△△△。  (執筆担当部分：△△について)  著者：○川○夫、△山△成  □□□□□□□□□□□□□。 |
| ○○○○  （　　） | （著書）  １．○○○○  （その他）  １．◇◇◇◇ | 単  共 | 平成○○年○月  令和○年○月 | ○○○  ◇◇◇ | ○○  (抽出不可)  (○○) | （再掲のため、略）  ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇。  (執筆担当部分：△△について)  著者：○川○夫、△山△成（計○名） |

本学は令和５年度から開始する教職課程について、令和３年度末までに課程認定申請を行う必要があります。教職課程の科目を担当する全ての教員が担当授業科目に関連した研究業績等を有しているかの教員審査を受けることになりますので、以下の記載に従い、書類の作成をお願いいたします。

＜全般的事項＞

1）主な担当科目について、作成するものとする。

2）「担当授業科目に関する研究業績等」欄に記載可能なのは、原則、公刊済の活字業績のみである。（論文として発表済であっても、未刊行の場合は記載できない。）

3）教育研究業績書作成時点で未刊行であるものの、令和４年２月までに公刊されることが確定している業績については、「〇月〇日発行予定」として記載可能。

＜「担当授業科目」欄＞

1）担当授業科目ごとに区分線を引き、研究業績を記載すること。（研究業績ごとに担当授業科目名称を記載しないこと。）ただし、△△指導法Ⅰ～Ⅳなど番号違いのみの一連の科目については、一つの枠にまとめて記載することができる。

＜「著書、学術論文等の名称」欄＞

1）各担当授業科目に関連する研究業績について、（著書）、（学術論文等）、（教育実践記録等）、（その他）の順で該当するものを記載し、新たな区分を設けないこと。

○ （著書）は、出版社を通して流通し、書店などにおいて販売されている書籍の書名を記載すること。

○ （学術論文等）は、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記載すること。学位論文については、その旨を記載すること。

○ （教育実践記録等）は、大学や教職員支援機構等での指導や研究会等での研究発表、校内研修での実践発表などにおける実践的・実証的研究成果の発表記録や著作等で活字化したもの（いわゆる「研究紀要」「研究集録」「研究レポート」「実践レポート」「教育論文」等）を記載すること。なお、栄養に係る教育に関する科目の担当教員については学校給食関係雑誌、冊子等で実践経験に基づく研究成果を発表した業績等を記載すること。

○ （その他）は、担当授業科目に関連する報告書や教育関係雑誌など、活字として発表し、広く世間一般に向けて刊行されている研究業績を記載すること。

＜「単著共著」欄＞

1） 当該著書等に記載された著作者が１人である場合には「単」、著作者が複数で単独執筆ページがある場合は「共」と記載すること。

2） （著書）の場合は、単独執筆の箇所がある場合であっても、著作者が複数の場合は「共」と記載すること。

3） （学術論文等）（教育実践記録等）（その他）の場合は、当該論文等に係る単著・共著の別を記載すること。（掲載媒体の単著・共著ではない。）

＜「発行年月」欄＞

1） 当該業績が活字として発行された年月を記載すること。過去１０年以内（平成２４年　　４月～本調書作成日まで）の年月となっているか確認すること。

＜「出版社又は発行雑誌等の名称」欄＞

1） （著書）の場合は出版社を、（学術論文等）（教育実践記録等）（その他）の場合は掲載媒体の名称（巻・号を含む。）を正確に記載すること。

＜「執筆ページ数（総ページ数）」欄＞

1） 当該業績において本人が単独で執筆したページ数の合計を「執筆ページ数」欄に記載すること。

2） 単著・共著及び発行形態の別を問わず、当該業績の総ページ数と本人が執筆したページ数の合計が異なる場合においては、本人が執筆したページ数の合計に加えて、当該書籍又は学術論文、雑誌等の総ページ数を括弧書きで記載すること。（研究紀要などの論文集については、論文集の総ページ数ではなく当該学術論文の総ページ数を記載する。）

3） 共同研究等により本人が執筆したページ数の合計が記載できない場合に限り、執筆ページ数の代わりに（抽出不可）と記載し、当該業績の総ページ数を括弧書きで記載すること。

＜「概要」欄＞

1） 複数の授業科目を担当する場合で、同一の研究業績等の同一の内容が複数の授業科目に関係する場合、２科目目以降は「概要」欄に「再掲のため、略」と記載することができる。その場合でも、「概要」欄以外は略すことができないので留意すること。なお、同一の研究業績等であっても、授業科目ごとに関連する箇所が異なる場合には、「再掲のため、略」とせず、授業科目ごとに「概要」欄を書き分けること。

2） 「概要」欄には、著書等の内容を 200 字程度の日本語で記載し、担当授業科目と特に関係する記述の箇所に下線を引くこと。なお、共著の場合は、当該業績全体の概要とは別に、本人が執筆した内容を記載すること。

3） 共著の業績は、「概要」欄に本人を含めた著者全員の氏名を漏れなく記載すること（著者が非常に多数にわたる場合は、本人を含めた主要な著者の氏名及び著者の合計人数を「計○名」と記載する。）。その上で、本人の氏名に下線を引くこと。

4） 「執筆ページ数」欄に「抽出不可（総ページ数）」と記載した場合、当該著書等（学術論文の場合は当該論文）の執筆箇所において本人が果たした具体的な役割を「概要」欄の最後に記載すること。なお、役割が監修、編集、翻訳、執筆指導、発表、実験データ提供など、本人が当該著書等を直接執筆していないものは本人の活字業績とみなすことができないため、この場合は「教育上の能力に関する事項」又は「職務上の実績に関する事項」欄に記載すること。